

英語を楽しく

No.386

☆日本人が英語力をつけにくい理由

日本語は、どの行にも「a・i・u・e・o」の母音がつきます。例えば、「いぬ」はローマ字表記で「inu」u、「つくえ」は「tukue」eのように、単語が必ず母音で終わります。h/k/tなどのように子音で終わる。言葉とは大いに違います。ですから日本人はh/k/tなどのように子音で終わる英語のような発音が意識しにくいのかもかもしれません。

また、Thank you の発音 th は「サ」ではありません。ですが、「サンキュウー」・「サンキュウー」・「サンキュー」などカタカナの大きさや表記に工夫をして、本来の発音に近づく努力をしているのが見られます。でも、英語の本当の発音にはなりません。

発音が不正確であると ①話したいことが伝わらない。②正しい発音を知っていないと相手の言ったことが理解できない、ことが起こります。

例えば、

A, She played tennis with her mother

B, She prayed her father's safety with her mother.

A は「彼女は、母親とテニスをした。」

B は「彼女は父の安全を母親と祈った。」

ですが、play を「遊ぶ・演奏するという意味を知っている人は」

B の She prayed her father's safety with her mother. を聞いたとき prayed を played と聞き「彼女は父の安全を母親と遊んだ(演奏した)」と解釈することでしょう。

次の文は間違った発音が違ふと文意がわかりません。

① I rub (love) her. I wont' (want) to marry her.

彼女をこする? 愛しているでしょう。結婚しない? したいのでしょう。

② I am light (right). 私は明るい? 私は正しいでしょう。

③ I can ride a hose (horse) ホースに乗る? 馬に乗るのですね

④ She will take a bath (bus) with her father. お父さんとお風呂に入る? まさか、一緒にバスで行くのでしょうか。

◎ news は 「ニュース」それとも「ニューズ」

2つとも厳密にいうと間違いですが、どちらが近い発音かと言うと発音 [nju:z] で、カタカナでは「ニューズ」